

取扱説明書

このたびはレスリーコンバーターXLD-811をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
XLD-811は8ピンDINのレスリー出力端子を持つ Hammond 製品と11ピン入力端子を持つレスリースピーカーを接続するための機器です。
この機器の機能を充分ご理解いただき、正しく安全にお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読み下さい。また、必要なときにすぐに見ることができるようお手元に置いて下さい。

安全上のご注意

- 改造や分解は危険です
改造や分解はしないでください。故障の原因となるだけでなく、感電の恐れがあり大変危険です。
- 濡れた手で触れないで
濡れた手で電源プラグ・コード及び本体に触れないでください。感電の恐れがあり大変危険です。
- 水・湿気は大敵です
水分や湿気の多い場所では、絶対に使用・保管しないでください。
- コードは引っ張らないでください
電源コードの上に物を置いたり、引っ張ったりしないでください。感電の恐れがあり大変危険です。
- 異物を入れないでください
本製品に硬貨や針などの異物を入れないようにしてください。故障の原因となるだけでなく、感電の恐れがあり大変危険です。
- 付属のアダプタ (AD1-1010) 以外は使用しないでください
故障の原因になるだけでなく、感電・発火・火災の恐れがあり大変危険です。
- ホコリっぽい場所は避けてください
ホコリの多い場所での使用・保管は避けてください。故障や発火など事故の原因になることがあります。
- 電源は必ず交流100Vを使用してください
エアコンの電源など交流200Vのものがあります。誤って接続すると、感電や火災の恐れがあります。
- 異常を感じたら電源をきってください
万一異常や発熱などの異常を感じたときは、電源スイッチを切りACアダプタをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店、または、スズキ各営業所にご連絡ください。
- 熱くなる場所を避けてください
自動車の中や暖房器具のすぐ近くなど極端に熱くなる場所での使用・保管は避けてください。変形・故障の原因になります。
- 不安定な場所に置かないでください
不安定な場所に置かないでください。落下をして思わぬけがをする恐れがあります。
- 衝撃を与えないでください
ぶつたり落としたりしないでください。製品に傷をつけるだけでなく、故障の原因になります。
- 使わないときはACアダプタを抜いてください
製品保護のため、ご使用の際は必ず電源スイッチを切り、コンセントからACアダプタを抜いてください。
- お手入れは柔らかい布で
お手入れは柔らかい布で乾拭きしてください。アルコール・シンナー・ベンジン等は製品を痛めますので絶対に使用しないでください。
- この足取線をしないでください
コンセント部が以上に発熱して発火したりすることがあります。

使用上の注意

- 音の大きさについて
- ・本機を使用しても音量が十分でない場合は、レスリー本体にあるボリュームを調整してください。レスリー本体のボリュームについては、レスリーの取扱説明書をお読みください。
 - ・レスリースピーカーを大音量で長時間お聞きになると、難聴になる可能性があります。
 - ・ご自身の聴力に違和感があるときは、ただちに使用を中止し、専門医に相談してください。
- 電源について
- ・ACアダプタを長時間使用するとACアダプタ本体が多少発熱しますが、故障ではありません。
 - ・本機を冷蔵庫、洗濯機、電子レンジ、エアコンなどのインバーター制御の製品やモーターを使った電気製品が接続されているコンセントと同じコンセントに接続しないでください。電気製品の使用状況によっては雑音の発生などの誤動作が起きる場合があります。これらの機器からできるだけ遠ざけ、電源を分けてお使いください。
 - ・長時間お使いにならないときは、ACアダプタをコンセントから抜いてください。
- 設置について
- ・直射日光の当たる場所や発熱する機器の近く、閉め切った車内などに設置しないでください。変形・変色することがあります。
 - ・極端に湿度の違う場所に移動すると内部に水滴がつく(結露)ことがあります。そのまま使用すると故障の原因となりますので、数時間放置し、結露が無くなってから使用してください。
- お手入れについて
- ・通常のお手入れは柔らかい布で乾拭きするか、硬く絞った布で汚れを拭き取ってください。汚れが激しいときは、中性洗剤を含んだ布で汚れを拭き取ってから、柔らかい布で乾拭きしてください。
 - ・変色や変形の原因となるベンジン・シンナー・アルコール類は使用しないでください。
- 修理について
- ・お客様がこの機器やACアダプタを分解、改造された場合、以後の性能、安全を保証できなくなります。また、修理をお断りする場合があります。
- その他の注意
- ・故障の原因となりますので、スイッチや入力端子などに過度の力を加えないでください。
 - ・ケーブルの抜き差しは、断線やショートを防ぐため、プラグを持ってください。
 - ・音楽をお楽しみになる場合、隣近所に迷惑がからないように、特に夜間は、音量に十分注意してください。
 - ・この機器が入っていた梱包箱や緩衝材を廃棄する場合は、各市町村のゴミの分別基準に従い、行ってください。

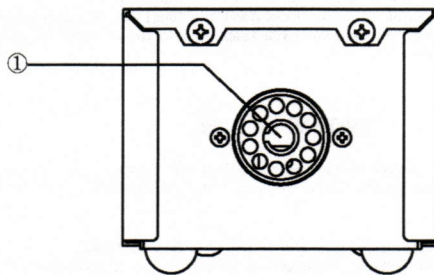
主な仕様

適合機種: 入力 XK-1, XB-1, XM-1
出力 #122XB, #771などの11ピンタイプのレスリー
寸法: 幅10cm 奥行12cm 高さ8cm
重量: 700g
入力ケーブル: 8ピンDIN 1.6m
出力端子: レスリー標準11ピンソケット
電源: DC10V~15V ACアダプター
消費電流: DC50mA (DC10V)
コントロール: 接続機器 切り替えスイッチ XK-1 ← XB-1, XM-1

適合するレスリー

1. 直接、接続することのできるレスリー
#122XB, #771, #820
以下のモデルはマルチチャンネルのレスリーですが、ローターチャンネルからのみ音が出るシングルチャンネルのレスリーとして動作します。
HL-722, HL-822, HL-422, #815, #715, #415
#912, #914, #750
 2. 接続することのできないレスリー
#122, #147などの6ピンのレスリー
#710, #760などの9ピンのレスリー
- その他のレスリーにつきましては、販売店または、支店、各営業所にお問い合わせください。

①11ピンソケット
レスリー専用の11ピンケーブルを用いて、122XBなどの11ピン入力端子を持つレスリーと接続します。
端子の中央にある穴の向きを確かめて、しっかりと差し込んでください。



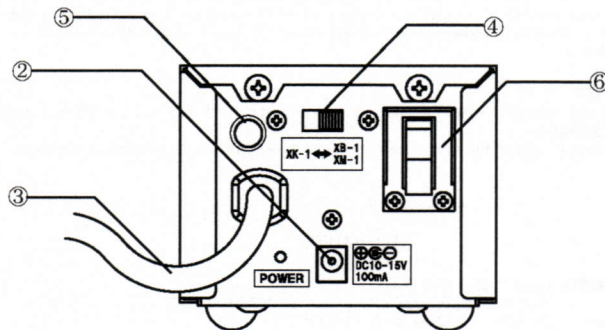
②ACアダプター端子
付属のACアダプター AD1-1010 を接続する端子です。

③8ピン入力ケーブル
XK-1, XB-1, XM-1等のレスリー8ピン出力端子に接続します。

④接続機器の切り替えスイッチ
本機に接続する機器は出力レベルに違いがあるため、このスイッチで本機の入力感度を切り替えます。XK-1に本機を接続するときには、このスイッチのノブを左側にします。XB-1, XM-1といった機種に接続するときには、このスイッチのノブを右側にします。

⑤電源ランプ
本機の電源が入っているときに点灯します。

⑥コードフック
ACアダプターのケーブルを一旦このフックに掛けておくと、不用意にケーブルが抜けるなどの事故が少なくなります。



接続について

本機をオルガンやレスリーと接続する際には、誤動作やノイズによるスピーカーの破損を防ぐため、下記の順序で行ってください。

1. レスリーの電源ケーブルが抜けていること。オルガンまたは音源モジュールの電源が切れていることを確認してください。
2. レスリーと本機を11ピンケーブルで、また、本機の8ピンケーブルをオルガンまたは音源モジュールに接続します。
3. 本機にACアダプターを接続します。
4. ACアダプターとレスリーの電源コードをそれぞれ電源コンセントに接続します。
5. オルガンまたは音源モジュールの電源を入れます。

接続をはずすときには、逆の順序で行ってください。

故障と思う前に

動作がおかしいと思ったときには、まず、以下の点を確認してください。確認しても思うように動作しない場合は、お買い上げ販売店か、営業所にお問い合わせください。

症状	原因
1. 電源が入らない	ACアダプターは指定のものが、正しく接続されていますか。
2. 音が出ない	11ピンケーブルや8ピンDINケーブルは正しく接続されていますか。真空管を使ったレスリーは電源を入れて音が出るまでに、約30秒かかります。
3. 音が小さい	接続機器の切り替えスイッチをお使いのオルガンに合わせて設定されていますか。レスリー本体のボリュームが下がっていませんか。